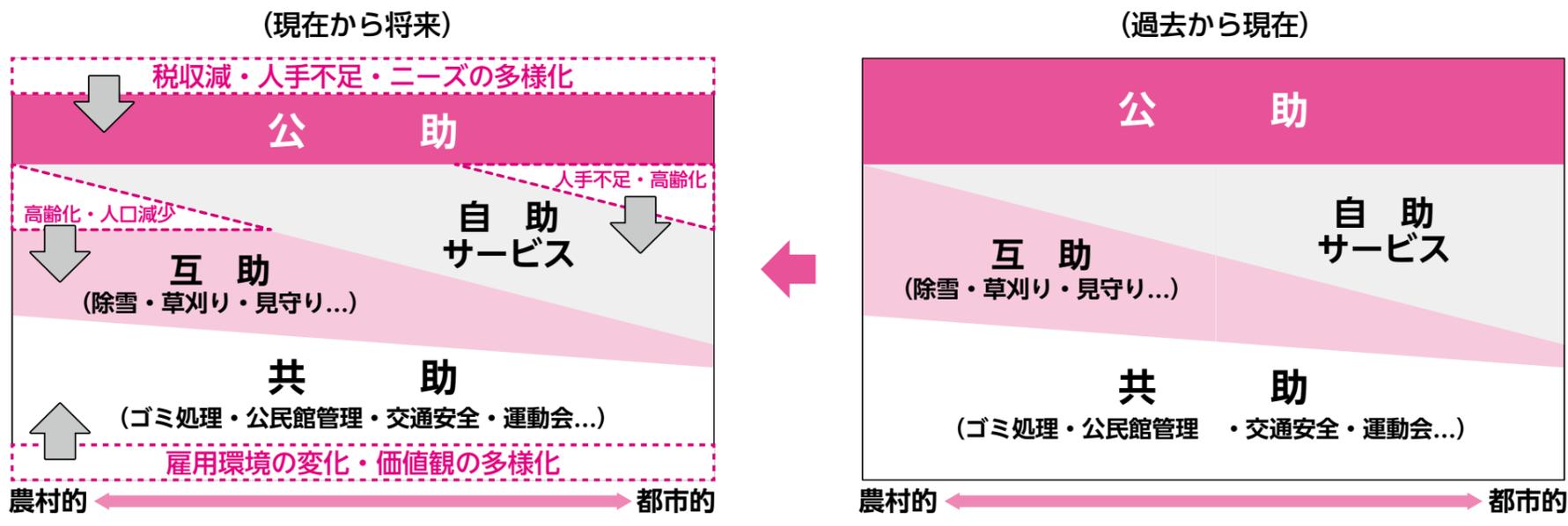


地域づくり推進室では、これからの地域づくりを皆さんと話し合いながら進めています。ここでは、地域づくりの考え方や取り組み等を皆さんにお届けします。

隙間の話①

第1回では、時代とともに変わる地域づくりについて、考えました。
第2回では、実際にどのような変化が起きているのかを考えてみたいと思います。
昨年度、自治会長や民生委員、様々な団体の方にお話を聞いていく中で、地域では「隙間」がはじまっているのではないかと思えるようになりました。例えば、古くからのつながりが深い地域では、隣近所でトラクターを持っている人が高齢者宅の除雪を手伝い、隣近所の方が病院まで車に乗せていくてくれていました。しかし、その支援する側が高齢になり、一人暮らしの方が増えたことで、気持ちだけでは、どうにもならない状況が見えてきました。
今まで比較的若い人たちが多かった住宅団地でも、徐々に高齢化が進み、各世帯で解決できなかったことが解決できなくなっているケースも見受けられます。
また、価値観が多様化し、働き方や家族のあり方も多様化していく中、自治会活動も、「今までやってきたから」という事だけで続けることは困難です。

暮らしを構成する自助・互助・共助・公助の仕組み



皆さんの暮らしには、どんな「隙間」が出ていますか？
その「隙間」を防ぐために、どんなことができますか？

交番だより

金ヶ崎交番 (☎44・5227) 永岡駐在所 (☎44・3310)

夏の交通事故防止県民運動

～全員のリボンのカチャリがゴーサイン～

- 交通事故防止県民運動期間 7月16日(火)～25日(木)の10日間
- 運動の重点
- ①暑さなどによる過労運転の防止
- ②高齢者と夏休み中の子ども
- ③飲酒運転の根絶
- ④飲酒運転は、悪質・危険な犯罪です。罰金や運転免許の取り消しだけでなく、生活や家庭そのものを崩壊させてしまいます。



▼夏休みは子どもたちが外で遊ぶ機会が増え、行動範囲が広がることで、交通事故に遭う危険性が高まります。保護者は子どもの行動範囲の安全を確認し、道路では絶対に飛び出さないこと、道路を渡る時は「止まる、見る、待つ」を徹底させましょう。
▼夕暮れ時に外出する高齢者等が居眠りやぼんやり運転をしてしまい、正面衝突や路外に逸脱する単独事故が増加する傾向にあります。疲れや眠気を感じる前に時間を決め、こまめな休憩と軽い運動を取り入れるなどリフレッシュし、安全運転に努めましょう。
▼シートベルトやチャイルドシートを正しく着用しない、交通事故に遭ったときに重症や死亡事故につながる恐れがあります。運転手は、車に乗ったすべての人に正しく着用させ、同乗者の大切な命を守りましょう。
▼飲酒運転は、悪質・危険な犯罪です。罰金や運転免許の取り消しだけでなく、生活や家庭そのものを崩壊させてしまいます。

ふるさとへの風だより



在京金ヶ崎人会 会長 阿部 敬さん (東京都在住、百岡出身)

町民の皆さまには田植えも終わり、昔ながらの「なぶり」といって、仲間同士で手料理とお酒を楽しんでいる頃だろう、などと故郷の風景を思い描いておられます。日頃より弊会の活動についてご協力いただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

今年(令和元年)は、3つ①金ヶ崎人の集い②「町民お花見会」③「金ヶ崎夏祭り」への参加と駅前植樹した「せつき」の清掃活動④「近隣ふるさと会」への参加を基本方針として活動してまいりたいと考えています。
私たちの会は、『町に感謝し、町を誇りに思い、町を応援したい』という人たちの集まりです。この考えに賛同いただける人ならどなたでも会員になります。会員同志の交流は勿論ですが、今後「金ヶ崎人の集い」を通じて、故郷を縁に新しい出会いができる場を提供していきたいと思っております。町民の皆さまには、東京近郊にお住いの友人・知人・親戚の方々にお声をかけていただければ有難いです。

就任のご挨拶

民お花見会の折に挨拶させていただきますが、この度の役員改選において会長職を仰せつかりました、阿部敬です。微力ではございますが、昭和と平成の時代を生き抜いてきた

在京金ヶ崎人会へのお問い合わせやご連絡は左記へ
▼連絡事務所(金澤志年) ☎・FAX 044・711-2310
e-mail skshoukai@gmail.com
首都圏在住の金ヶ崎出身者やゆかりのある方の入会を歓迎いたします。